

総務委員会会議録（要点筆記）

令和6年11月8日（金）

午後1時30分 開会

○國弘秀之委員長

ただいまから総務委員会を開会します。それでは、協議題1「閉会中の調査事項について」を行います。先日の行政視察につきましては、ハードな行程にも関わらず、委員の皆さまのご協力により、つつがなく視察を終えることができました。ありがとうございました。行程が異なりました榊原議員も無事に合流でき、お疲れさまでした。

今後は、提言をとりまとめていくこととなりますが、本日は、まず皆さまからご提出いただいた視察報告書について、その内容や提言に繋がるご意見などを、順にお聞かせいただきたいと思います。

まず私から、延岡市につきましてナブネットの有効性や利便性を確認することができました。ただ、効果的である一方、システムの導入に多額の費用がかかることも課題だと思います。昨今衛星技術が進展しているなかで、半田市が独自にこのような大規模な通信システムを導入する必要があるかは慎重に検討しなければいけないと感じました。始良市は、特に防災ラジオについて電源オフになっているものを行政側から強制起動できるものはとても良いものと思いました。また、屋外スピーカーを町内会で日常的に情報発信に利用していることなど半田市においても検討する余地があると思いました。霧島市のライブビジョンについては、LINE や X などの SNS があるなかで、そのようなプラットフォームを並行して運用する負担増加がネックとなるように感じました。このようなアプリを行政が多額な費用をかけて導入するよりも LINE や X などの既存のアプリを生かしたほうが安価に情報伝達を行うことが可能と思いました。そのため効率的な情報伝達や予算の有効活用という面において考えさせられました。

○山本裕介副委員長

延岡市のナブネットについては、携帯電話のキャリアが途絶しても利用できること、また、日常的にも利用できることからシステムに常時触れていて災害時に使い慣れているものが利用できるということはよいものだと思います。多額な予算が必要ですが、半田市の面積に按分して計算すると、延岡市ほどの負担にならないかもしれません。ただ、半田市にこの新しいシステムを導入するメリットがあるかどうかは検討が必要だと思います。始良市と霧島市には元々コミュニティ FM があってそれを防災ラジオで活用していますが、コミュニティ FM がない半田市に導入できるかどうかは検討が必要だと思います。災救マップについては半田市内も導入を検討していくとのことですが、マイレポはんだに近いシステムで安価に運用できることはメリットがあると思います。霧島市は地域特性として水害に重点が置かれた防災計画という印象でした。またアプリのダウンロード数は防災講話を通じて伸びてきています。3市とも共通することは、「市長公室」または「危機管理室」が所管している庁内体制も、検討事項だと思います。

○山田清一委員

ナブネットは高額な初期投資や維持コストに対して利用率が高くないため、費用対効果も含めて慎重な議論が必要であると思いますが、有益な手段だと思います。始良市の災救マップは有益なツールだと感じました。霧島市で感じたことは、アプリを新たにダウンロードして登録して利用することはハードルが高いのだなと思いました。半田市は公式 LINE を多くの方が利用していますので、LINE のなかで防災情報機

能を拡充することはできないかと思いました。

○新美保博委員

3市3様のやり方があって、半田市は今後選んでいけばよいと思います。費用をかければよいという訳ではないし、費用をかけなければいけないものもあると思います。参考にしながら、半田市に合ったものを見つけていけばよいと思います。

○渡邊昭司委員

個々の市については報告書に記載しました。どこの市も年齢、世代、地域に応じて様々な方法を試していると思いました。そのなかで、LINE、コミュニティ FM、防災ラジオなどどういうものが半田市で試していけるのかと思いました。LINEを進めていくかもしれないとお聞きしていますし、地道に防災講話をやっていくなど、様々な方法があるなかで半田市に生かせるものを作っていくという提言ができればよいと思います。

○榊原瑞輝委員

一つの手段ではなく様々な世代や障がいのある方が受信ができる手段をいくつか設けること、多言語対応ができること、携帯電話のキャリアがダウンした（使用できなくなった）時の方法を考えておくことが必要と感じました。

○石川英之委員

アプリだとダウンロードして登録することなどがハードルが高いようですので、防災ラジオが最も多くの方の耳に情報が入ると思いますが、その場合コミュニティ FM が重要だと思いました。半田市においてもコミュニティ FM が以前検討されましたが、実施されなかったことを考えるとそれもハードルが高いと思います。ただ、市民にハードルを高くするよりも半田市にハードルが高いほうがまだ乗り越えられると思います。3市を通じて一番感じたことは、コミュニティ FM の重要性です。

○出口久浩防災監

災害時のみでなく平時から利用できるようなものとするフェーズフリーの考えのもとやっている3市とも共通して感じました。視察に関することではありませんが、参考としてお伝えしますが、半田市では区長さんには防災ラジオをお配りしてあり屋外スピーカーから流れるものがそこから流れます。しかし、一部の区長さん宅には無線が届きません。その対応はお宅にアンテナを立てて無線が繋がるようにしています。そのため、コミュニティ FM の電波だけが繋がるケースもあると思います。今回 800MHz の MCA 無線が使えなくなりますが、電波の周波数が小さくなれば小さくなるほど、電波が飛ぶそうです。半田市が使っている防災ラジオは FM より小さい 60MHz です。それでも繋がらないケースがあるので、FM 電波がすべてのラジオに届くか疑問に思っています。

また、災救マップについては試験導入していきたいと思っています。

○國弘秀之委員長

ありがとうございました。しばらく休憩いたします。

午後 1 時 4 7 分休憩

午後 2 時 3 4 分再開

○國弘秀之委員長

休憩をとり、委員会を再開します。本日、協議いただきました結果、同報無線の取り扱い、携帯電話

が使えなくなるキャリアダウン、フェーズに応じた多層的な手段などがキーワードになると思いましたので、委員会報告の素案を正副委員長でたたき台を作成しまして、次回の総務委員会の開催までに委員の皆さまにラインワークスにてご案内させていただきます。委員の皆さまにおかれましては、次回の総務委員会までにお目通しいただき、ご協議をお願いします。

続きまして、協議題2「その他」を行います。その他として、委員のみなさまから何かございませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終了します。次に、次回の委員会の日程を決めたいと思います。しばらく休憩いたします。

午後2時35分休憩

午後2時37分再開

○國弘秀之委員長

休憩をとき、委員会を再開します。それでは、次回の委員会を1月30日（木）午前9時30分から開催したいと思います。ご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

それでは、1週間程前に開催通知をタブレット端末のラインワークスにてご案内させていただきます。

以上で、本日予定いたしました議事は、すべて終了いたしました。ほかに、何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午後2時38分 閉会